

2019年4月12日

第62回群像新人文学賞決定のお知らせ

平素より、弊社の出版活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

第62回群像新人文学賞が以下のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

◆第62回群像新人文学賞（賞状ならびに賞金50万円を贈呈）

選考委員 柴崎友香 高橋源一郎 多和田葉子 野崎敏 松浦理英子

（50音順・敬称略）

当選作 「そどこけあほが通るさかい」

著者 石倉真帆（いしくら・まほ）

略歴 1984年2月9日奈良県生まれ。35歳。近畿大学卒業。事務アルバイト

また、第62回群像新人評論賞は、「群像」2018年12月号で発表したとおり、以下のように決定しております。

◆第62回群像新人評論賞（賞状ならびに賞金50万円を贈呈）

選考委員 大澤真幸 熊野純彦 鷲田清一

（50音順・敬称略）

当選作 「故郷と未来」

著者 長崎健吾（ながさき・けんご）

略歴 1989年高知県高知市生まれ。30歳。高知追手前高校卒業、東京大学大学院人文社会系研究科（日本史学）博士課程在学中。千葉県在住

第62回群像新人文学賞当選作「そどこけあほが通るさかい」ならびに選評は、「群像」6月号（5月7日発売）に掲載いたします。

講談社 広報室